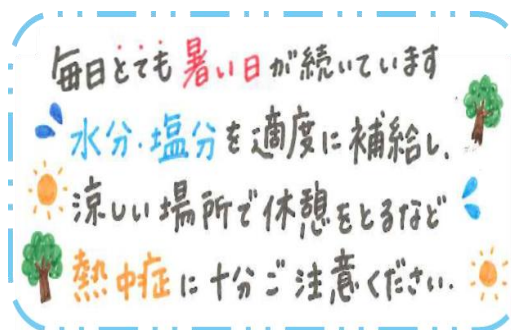


# たんちょう通信

～ 第 39 号 ～

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつもたんちょう通信をお読みいただき、誠にありがとうございます。今回は「目標と方向性」についてお話し致します。「新体操クラブ」に所属している小4の娘は、毎日練習に励んでいます。週末はいつも練習か試合があります。先週の日曜日は「三重県ジュニア選手権大会」が伊勢のサンアリーナで開催されました。県内の小5から中3までのジュニア選手が対象で、小4の娘は参加資格がまだなく応援組でした。それでも娘は張り切って朝から大会へ出かけました。「送迎役」の私も後から応援に駆けつけました。結果は、クラブのリーダー役でもある「はるかさんとみのりさん」が「ワンツーフイニッシュ！」見事に「優勝と準優勝」を獲得しました。応援していたクラブの仲間や保護者のお母さん達も大喜びでした。その時の娘の喜ぶ姿も、まるで自分が優勝したかのように喜んでいるのがとても印象的でした。「先輩の成果は、後輩たちの成果でもある。」みんなの喜ぶ姿を見ながらそんなことを思っていました。私も今、大阪で月に一度「商い経営塾」で「経営戦略」の勉強をしております。参加は全国各地から会社の経営者や営業リーダーの幹部が集まって来ています。経営戦略の教えの元、同じ言語で、お互いが意見を出し合って、切磋琢磨しています。参加の目的は一つ「自分の業界で1位になる」か「地域で1位になる」若しくは「たとえ小さな分野でも何か1位になる」ことを目標にして学んでいます。その「経営の目的」は「お客さまづくり」です。お客さまを第一に考えて、喜んでいただくことです。お客さまを大切にすることは喜ばれるサービスを常日頃から提供することからと思います。これからも、社員一丸となって「目標と方向性」のベクトルを合わせて、お客さまのご期待を裏切らないように努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



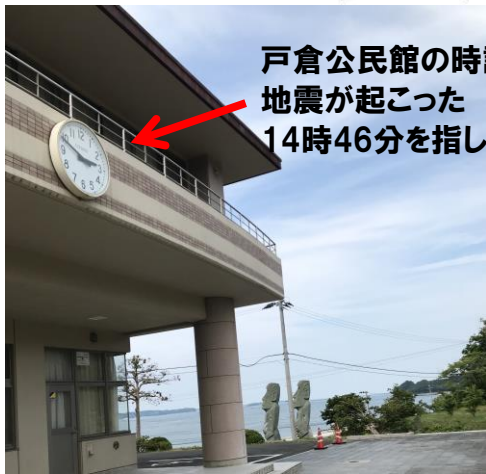


社員研修で宮城県仙台市に行ってきました。初日に南三陸町を訪れて、一時間(ほど)語り部さんのお話を聞きながら、町内を見学しました。地震が起きた時間のまま止まっている時計(14:46)や取り壊されていない仮設住宅、当時の様子がそのまま残されていたり、震災前は本当に家がたくさん建っていて、賑わっていたのが、疑ってしまうくらいにもなくて静かだったりと、私が思っていたよりも、復興が進んでいないと感じました。私は震災当時小学校6年生でそれから7年も経ったのに、まだ思っていたのですが残っている建物に記された22.6mという津波の高さや南三陸町の現状を実際には自分の目で見て震災からまだ7年しか経っていないのだなと思いました。津波で浸水した地域は震災後住宅が建てられないことになり、家や土地を取り戻すことができない方が多くいらっしゃるようですが、その代わりにお店が少しずつ増えてきていて、将来的には、すごく活気のある町になるのではないかと思います。

私が住む三重県も南海トラフ地震が起こるといわれていて、津波の被害に遭うのではないかと予想されている地域もあります。南三陸町を訪れ現地で見て聞いた地震・津波の恐ろしさ、どうすればよいかということも周りの人に伝えること、一人ひとりが他人事とは思わず備えることで、一人でも多くの命を救うことができるのではないかと思います。



藤本 桃佳



戸倉公民館の時計  
地震が起こった  
14時46分を指しています



津波で、  
骨組だけが残った防災対策庁舎



ここまで津波が  
来たそうです  
(22.6m)

**地震の揺れでガスが止まったときは...**

防災コーナー

ガスをご使用中に

約震度5の地震で、ガスはストップします。揺れがおさまり、安全が確認できた場合...

**復帰方法**はこちら↓

ガス栓・器具栓を全て止め、メーターの「復帰ボタン」を押してください。液晶と赤いランプの点滅を確認し、約**1分間**お待ちください！点滅が消えたら、復帰は完了です(^\_^)!